



市議 山本とも子



神奈川ネットワーク運動

あつぎワイワイ通信 NO. 113

2019年1月

住所：243-0003 厚木市寿町 1-7-1 Tel:046-222-8947 Fax:046-294-2080

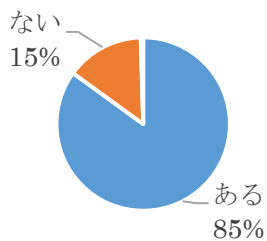
<http://atsugi.kgnet.ge.jp/>

「香害」アンケート中間報告

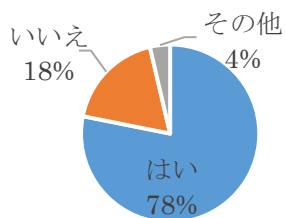
どんな場面で不快に感じましたか？

- ・電車やバスの車内で
- ・近隣の洗濯物の匂い
- ・子どもの学校の白衣
- ・スーパーの洗剤売り場で
- ・飲食店
- ・香水のにおい 他

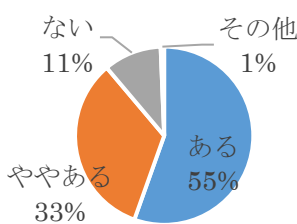
お店や車内等で「香り」について不快な思いをしたことがありますか？



「香り」の成分について知りたいですか？



「香り」について不安がありますか？



アンケートはこちらから

<https://kanagawanet.org/kougai>



新たな議員の年金制度にNO!!

2011年に地方議員年金制度は廃止されましたが、この間、新たに地方議員の厚生年金加入を可能とする内容で法案の取りまとめが進んできました。

廃止となった地方議員年金制度の給付負担は今後50年以上、地方自治体の財政を圧迫し続けます。(約1兆3600万円) 議員が自らの老後保障のためだけにお手盛りで議員立法することは、政治への信頼を損なうものです。

◇法案提出を阻止！◇

神奈川ネットでは、新たな議員の年金制度に反対し、国会議員へのロビー活動やハガキを送るアクションにより、2018年中の法案提出を止めることができました。

◇シール投票やっています◇

今は動きが見えませんが、いつ提出されてもおかしくない状況です。神奈川ネットでは引き続き、国会議員へのアクションとともに、シール投票で市民の声を見える化していきます。



「香害」ご存知ですか？
使っている人に自覚がなくても、困っている人は案外多い！

香害をかんがえよう

「香害」とは、柔軟剤や、洗剤の人工的で過剰な香りに含まれる化学物質により、めまいや吐き気、思考力の低下などの症状を誘発するもので、化学物質過敏症の原因の一つとされています。

最近では、家庭で使用する洗剤や柔軟仕上げ剤に強い香りの商品が出回っています。

これまでの取り組み

神奈川ネットでは、2015年に香料による被害相談が寄せられ、神奈川県を取り組み状況の調査や啓発ポスター

一方、電車の中、隣家の洗濯物、学校給食のエプロン等において体調不良や不快を訴える人が増えています。化学物質過敏症を悪化させることもあります。

アンケートにご協力を

あらためて、「香害」の存在を広く知らせるために、アンケート調査を開始しました。左のグラフは、これまでに寄せられた1000を超える回答です。引き続き、アンケート調査を継続します。

作成して、公共施設をはじめ、連携団体の施設への掲示をすすめてきました。

厚木市議会報告 ◇12月議会から◇

市議 山本 智子

■ 補正予算について

12月議会での補正予算(案)は、合計で1,316,395,000円の規模で、人事院勧告による給与の引き上げと事業の補正です。

文化会館維持補修事業(22,297,000円)では、築後40年が経過し配電・空調・北側出入り口の修理等が必要となりました。また前回の大規模改修から15年が経過し、今後さらに大規模な改修のためにPPPやPFIの導入検討もされます。

市庁舎も含め公共施設の老朽化が一気に進んでいますが、まちづくりの観点からの整備が求められます。

旧依公民館(関口地域)改修事業(30,000,000円)は、現在、選挙管理委員会の倉庫として利用していますが、依知地区地域包括支援センターと障害者相談施設として活用するために改修される予定です。

依知地区の中央に地域包括支援センターができることは、地域住民にとって利便性が高まり、地域福祉の向上につながると考え、補正予算に賛成しました。



■ 陳情に賛成

「厚木市長の在任の期数に関する条例の誠実な履行を求める陳情」については、賛成多数で採択されました。

期数だけで首長の実績の評価は難しい事ですが、長期にわたる弊害を避ける手段として条例制定された経緯を踏まえ、賛成としました。

○厚木市長の在任の期数に関する条例(2007年12月21日施行)

(目的)

第1条 この条例は、市長の職に同一の者が長期にわたり在任することにより生じるおそれのある弊害を防止するため、市長の在任の期数について定め、もって清新で活力ある市政運営を確保することを目的とする。

(在任の期数)

第2条 市長の職にある者は、連続して3期(各期における在任期間が4年に満たない場合も、これを1期とする。)を超えて在任しないよう努めるものとする。

ワイワイトークのお知らせ

(議会報告とおしゃべりの会です)

2月23日(土) 10:30~12:00

3月23日(土) 10:30~12:00

厚木ネット事務所にて

ワクチントーク2018 in 厚木

11月3日、母里啓子さん、青野典子さんを講師にワクチンの学習会を開催しました。

ワクチンは戦後、腸チフス、パラチフス対策のために全員接種から始まり、「予防接種法」へとつながり、やらねばならないと言う概念が浸透しました。「ワクチンのある病気にかかる」と本人(親)が攻められる事になっている。製薬メーカーの意のままに子どもを差し出している。一度立ち止まって必要か否かを考えよう」と母里さんはおっしゃいます。

★同時接種について★

1歳までに定期接種だけでも13回、任意接種も含めると15~16回の予防接種があり、6ヶ月までの早期にすすめられているものが中心のため同時接種は避けられません。2016年に定期接種となったB型肝炎については母親がウイルスを持っていても胎内感染は無く、出産時の血液感染の危険性は現在の医療では十分に対応できています。しかし小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンとの同時接種が勧められており、副反応の重篤報告のうち75%が同時接種と報告されています。

また、予防接種後の死亡報告では、2011年~2018年までのヒブと小児用肺炎球菌を含む同時接種後の死亡報告は63人、どちらかの単独接種後の死亡報告が9人、併せて72人が接種後亡くなったとの報告があります。副反応と認定されたのは1人のみ、否認が10人です。数字からは、申請をしない人が多いのではないかと考えられ、同時接種により副反応の原因がわかりにくくなっています。

ワクチンの情報は多く手に入りますが、賛否も分かれ、必要かどうかの判断は困難です。そんな時、気軽に相談出来る窓口が必要です。参加者の感想からもこれまで悩んでいた方が多くいることが明らかになりました。

予防接種は何が何でもする事ではなく、受ける前に自分で考え、判断していいのだと伝える必要性を強く感じました。(山本智子)



「種子法」学習会のお知らせ

2019年2月16日(土) 14時 厚木市農協本所
講師：山田正彦氏(弁護士、元農林水産大臣)
主催：TPPとグローバリズムを考える市民の会
*厚木ネットも協力しています。



神奈川の基地を知る

ピースリングツアー2018に参加して

神奈川県内には、米軍基地が点在し、沖縄に次ぐ第二の基地県です。

厚木基地では、横須賀に空母が入港すると艦載機による離発着訓練(いわゆるタッチ&ゴー)が昼夜

繰り返され、爆音が問題とされていました。訓練の拠点が岩国に移駐したため、最近は何かが減りましたが、自衛隊の訓練は続いています。

厚木基地は、人口密集地域にある唯一の基地で、2カ月に一度くらいは何かしらの落下物が報告されているそうで、落下物による被害の可能性が常にあります。

このごろは、厚木市内の空でもオスプレイを見かけるようになりました。ピースリングツアーを通じた平和の活動を続けます。(内川由喜子)



★会員募集中★

いっしょに活動しませんか?

会費 1500円(年間)
三菱UFJ銀行 厚木支店 普通 0082884
厚木市民自治をめざす会
代表 山本 智子